

2(4) 日本の気候 (教科書 p 142～143)

①日本の気候の特色

・世界の気候帯では、(1 _____ [本州・九州・四国]) と (2 _____ [北海道]) に属する

→ (3 _____) の変化がはっきりしている

→ (4 _____)、(5 _____)、冬の雪の影響で、温帯や亜寒帯の中でも降水量が多い

②日本の気候区分 (六つの気候区)

ア (6 _____)

→とくに冬の寒さがきびしい。梅雨がなく、年間降水量が少ない。

イ (7 _____)

→冬の雪が多い。夏に乾燥する。

ウ (8 _____)

→冬に乾燥し、夏に降水量が多い。

エ (9 _____)

→年間降水量が少ない。夏と冬の気温の差が大きい。

オ (10 _____)

→一年中温暖で、降水量が少ない。

カ (11 _____)

→1年を通して雨が多く、冬でも温暖。

○作業 p 143④の雨温図を見て、次のことを確認しよう

・上越(高田)の6～8月の降水量は、那覇や名古屋の6～8月の降水量よりも少ない

→ ☐ 確認できた ☐ 確認できなかった

・六つの気候区の中で、岡山、松本、千歳の年間降水量が比較的少ない

→ ☐ 確認できた ☐ 確認できなかった

・六つの気候区の中で、那覇、上越(高田)、名古屋の降水量が比較的多い。

→ ☐ 確認できた ☐ 確認できなかった